

| | | |
|---|--------------|---|
|  | <h1>まねん</h1> | KKR 広島記念病院広報誌 |
| | | 第 7 号 |
| | | 発行所〒730-0802 広島市中区本川町1-4-3 国家公務員共済組合連合会 広島記念病院 TEL(082)292-1271 |

広島記念病院ホームページURL <http://www.kkrhiroshimakinen-hp.org>

日本医療機能評価機構再審に向けて

平成 16 年もあと僅かで、終わろうとしています。たび重なる台風の被害、新潟県中越地震の被害と、多くの天災に見舞われた年でした。

日本の医療の目指すところ

- ① 患者の視点の尊重
 - 医療に関する情報提供の推進
 - 安全で安心できる医療の再構築
- ② 質が高く効率的な医療の提供
 - 質の高い効率的な医療提供体制の構築
 - 医療を担う人材の確保と資質の向上
- ③ 医療の基盤整備
 - 生命の世紀の医療を支える基盤の整備等です。



広島記念病院が目指すところは、機能分担を考慮に入れて、得意な分野に特化しそれを十分に伸ばすことです。そして、急性期特定病院、地域支援病院になることです。

病院医療の目標は、良質な医療の提供、求められている医療の提供です。

- ① 患者の満足
- ② 紹介医の満足
- ③ 職員の満足
- ④ 医療経営の安定（満足）

を得る事です。

情報の共有化、効率化を図るために 15 年 8 月 1 日より、電子カルテを導入致しました。稼動から既に 1 年以上経過し、ソフトの修正を繰り返していますがまだまだ、進化が必要です。

IT 化の目的は

- ① 情報の共有化
 - 即ち、チーム医療です。患者さんを中心に、何を考え、何を治療したかを知る

ことです。記録することだけに終わってはいけません。

② 業務の改善、簡単化

決まった範囲内のことは、パスで行うこと。効率化です。

③ 仕事の評価

Plan、Do、Check、Action です。

④ 外来、— 入院、— 退院後への継続

外来～入院～退院への継続に繋がっていますか。

安心、信頼、満足のために日々進歩を遂げるよう、また、職員一同自分達の仕事を見直し、自分が患者であったらこれで満足するか否か、たえず問い掛けるように心掛けています。外部評価として2005年1月には日本医療機能評価機構を、再審致します。



就任にあたって

広島記念病院 看護部長 岸 富美子

平成16年4月1日に、連合会本部において寺村理事長より、看護部長の辞令交付を受けました。看護部長就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年の4月、関西から広島記念病院に着任して、1年9ヶ月が過ぎました。青天の霹靂というのでしょうか？20数年住み慣れた土地を離れ、連合会病院も初めての勤務場所であり、期待と不安を抱えてやって来ました。着任と同時に、電子カルテの導入の準備等で慌しく時間が過ぎました。1年後の大任に身の引き締まる思いと重責を感じております。

広島記念病院の理念である「患者さまが安心して受診できる、安らぎの環境と満足と信頼が得られる最良の医療を提供する」に基づいて看護部は、

社会の変動に即し、地域の患者さまのニーズに対応できる看護、当院でケアを受けてよかったと思える癒しの心をもった看護、安心して療養生活が送れるように、責任をもって主体的な看護を提供することを理念に掲げて進むことと致しております。今年度は、病院機能評価受審の更新の年であり、この受審を契機に看護の質の見直しと整備・改善に取りかかることにしております。その責任者としてこれから、職場の皆さんと共に取り組んでいきたいと思っております。

53年という長い歴史が築かれた広島記念病院をこれからは、更なる発展のために全力を尽くす所存でございます。皆様のご支援ご協力をお願い致します。簡単ですが、就任のご挨拶といたします。





医師紹介



内科医師 隅井雅晴



昭和 59 年広島大学を卒業し、昭和 61 年広島大学第 1 内科に入局、その後は消化器疾患を専門に広島大学附属病院で臨床をしてきました。現在は、胃潰瘍、十二指腸潰瘍を代表とするヘリコバクター・ピロリ関連疾患や逆流性食道炎、また、最近増加してきている潰瘍性大腸炎、クローン病といった炎症性腸疾患などの消化管疾患のほか、内科全般の治療を行っています。内視鏡検査では、食道、胃、大腸の通常検査や、食道、胃、大腸早期癌に対する内視鏡治療を行っています。内視鏡治療は消化管機能温存の点で優れており、今後、適応が拡大されていくものと考えられています。



内科医師 田村忠正



平成 15 年 4 月より広島記念病院内科に赴任いたしました田村忠正です。広島県出身で平成 7 年に高知医科大学（現 高知大学医学部）卒業後、広島大学附属病院内科及び広島市民病院循環器科で研修。その後広島大学第一内科（現 分子病態制御内科学講座）へ入局し平成 9 年より 3 年間島根県の国立大田病院（現 大田市立病院）、平成 12 年より帰学し消化管グループにて主に腫瘍中心に診断、治療、研究に携わってきました。赴任してこの 1 年無我夢中で過ごしやっと外来、検査、病棟と忙しい中で自分のペースがつかめてきたかなと思える今日この頃です。現在食道、胃、大腸などの消化管疾患の内視鏡診断及び内視鏡治療を専門に行っておりますが、前任地では特に高齢者が多く、消化器疾患以外に内科全般幅広く経験を積ませて頂きましたので、これらの経験を活かして今後の診療にあたっていきたいと考えております。

今後もしよろしくお願ひいたします。



眼科医師 岡田真弓

卒業年次 平成 13 年



専門： 外来では、白内障、緑内障、糖尿病網膜症（網膜光凝固術）、角膜疾患、ぶどう膜炎、小児の弱視など、眼科一般の診療を行っています。

手術は白内障を中心に、水・金の週 2 日間行っています。

日本眼科学会専門医

抱負：

この 4 月に広島記念病院に転勤して参りました。少しでも地域の患者様、先生方のニーズに応えることができるよう、非力ではございますが努力していきたいと存じます。今後とも御指導のほどよろしくお願い申し上げます。



新臨床研修医制度

診療部長 河村寛

今年の 4 月より新卒医師の研修制度が新しくなり、当院でも 1 名の研修医を迎えています。

この新たな研修医制度は以前のインターン制度に近い研修システムのようなのです(かく言う私も以前のインターン制度はよく知らない世代ですが)。ただ、以前の制度と大きく異なるのは、医師の資格(国家試験合格)を持って研修を開始すること、月約 30 万円の給料が保証されていることのようなのです。新制度では卒業すると、本人が希望する研修指定病院にて 2 年間の研修が義務づけられます。一年目は主に内科と外科を回り、2 年目は小児科、婦人科などを 2-3 ヶ月毎に回っていくシステムです。各科を広く見て、何科の患者にも対応できるようになることを目標にしています。当院にとってはいつも大学で育ててもらっていた卒業当初の医師の教育を日常の診療の合間に行うこととなりました。当院の医師の多くも、大学にて研修医を指導した経験を持っていますが、新制度開始にあたっての指導医のための講習の中で強く言われたことは、見て覚えろと研修医を突き放すのではなく、学び易い研修のプログラムを考えながら、こちらから研修の環境を整え、学びの場を提供するといった考えのもとに研修医に対することでした。この研修制度が始まった以上はこの制度を育てていくために広島記念病院も良い研修病院になる努力を日々重ねていかねばなりません。他方この研修医制度にはいくつかの不安な材料も感じています。そのひとつは地方と中央の格差の増大です。大都市の名だ

たる有名ブランド病院は日本中から研修医が押しかけ、地方の病院はゆくゆくは医師不足の中で地盤沈下を起こして行くことが懸念されます。人手不足で各病院が診療科を閉鎖しないといけないような事態が現実化しそうで不安なところです。

不安はともかく、当院でも新しい制度の下で研修医が十分に学べるように病院の医師は知恵を絞り、後輩たちが大きく伸びていくよう努力するつもりです。来年度も研修医が来てくれる事を切に願っています。



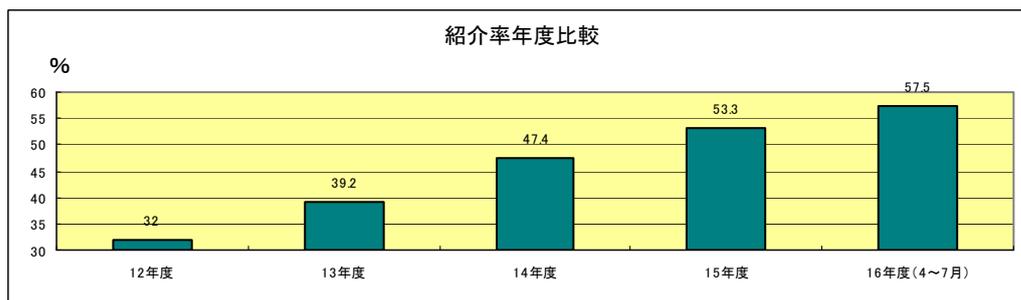
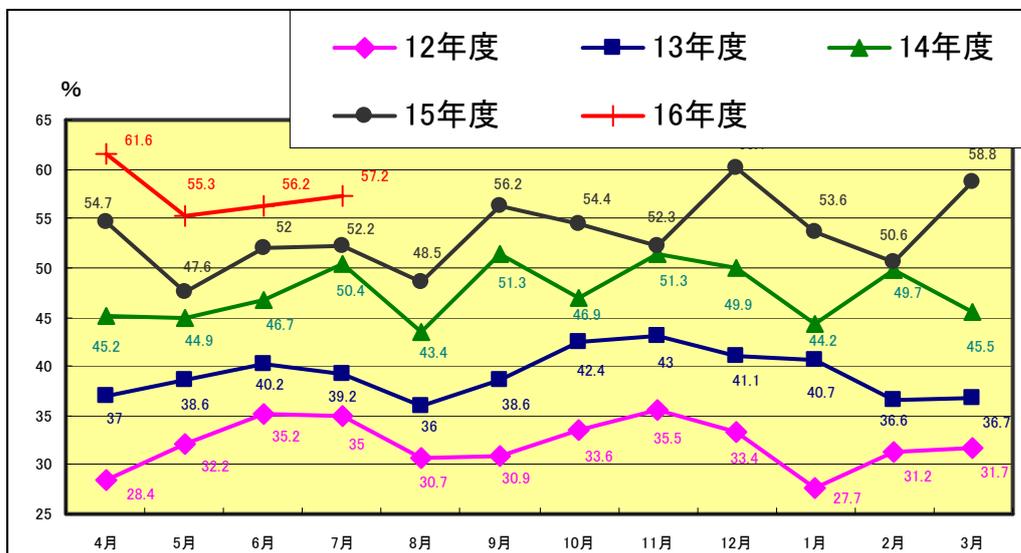
病診連携室だより

平成14年8月（平成13年1月開設）、新生病診連携室として新たなスタートを切り、はや2年が経過いたしました。

お陰さまで、紹介件数も年々増加し、平成12年度には、32%だった紹介率も平成15年度には50%を超え、念願の紹介加算3の届出をすることが出来ました。

紹介患者様専用受付の設置や、FAX受付による初診患者様の予約が取れないなど、まだまだ多くの課題を残しておりますが、地域の先生方のご要望をお聞きしながら、スムーズな連携を目指して頑張りたいと思っております。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



病院の「理念」「憲章」「患者様の権利の尊重」について

病院のこころ、職員の姿勢を伝えることを意とし、平成10年6月病院建替え完成と同時に、下記の「理念」「憲章」「患者様の権利の尊重」を制定いたしました。患者の皆様やその関係者の方々等広くお知らせするため、病院玄関より各階すべてに掲示しております。日々の仕事のなかで実現できるよう努力しております。

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

患者様の権利の尊重

- ◆ 患者様の人間としての尊厳を尊重し秘密を守ります。
- ◆ インフォームドコンセント（良く納得された上での合意）を基盤とし、信頼関係を確立します。
- ◆ 各科の有機的な連携を図り、高次で専門的な総合医療を行います。
- ◆ 癒しの心を持った、接遇、ケアを行います。
- ◆ 癒しの心を持った、入院環境、アメニティーの整備を心がけます。

何かお気づきの点や、紹介等で連絡がありましたら何なりと申し付け下さい。連絡先は下記のとおりです。また外来各科および病棟にFAXを設置しておりますので、ご利用ください。

代表 広島記念病院

TEL 082 (292) 1271

FAX 082 (292) 8175

庶務課

TEL 082 (503) 1001

病診連携室 (医事課)

TEL 082 (503) 1003

FAX 082 (503) 1010

内科・外科

FAX 082 (503) 0722

産婦人科・小児科

FAX 082 (503) 0723

耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082 (503) 0731

4病棟

FAX 082 (503) 1014

5病棟

FAX 082 (503) 1015

6病棟

FAX 082 (503) 1016

7病棟

FAX 082 (503) 1017

8病棟

FAX 082 (503) 1018